

ありがとう

「二十一世紀に 生き生き生きる
経営基盤創り。」



2015.8
VOL.46

●8月例会ご報告

発行責任者/山田 淳二 西岡 伸悟

8月例会ご報告

2015年8月7日(金) 於:合人舎ウエンディひと・まちプラザ

経営方針書発表会 イノベーションで未来にチャレンジ

人の温もりを生み出す為に…

東洋商事株式会社 代表取締役 長谷川 康垣 氏



まずは、今回は貴重な経験をさせていただきました戦略委員の皆様、経営研究会の皆様深く御礼申し上げます。

今回発表させていただきました経営方針書は、昨年の27TTから続いて2回目の作成でした。初めて作成したときは「やりたい、こうなりたい、クロッシングから中期経営方針書が繋がってない、絵に書いた餅になりそうな方針書ですね」と、ファシリテーターからアドバイスをいただきました。今回は、その時頂いたアドバイスを意識して、幹部社員さんと一緒になって作成しました。なにより、社員さんがここまで自社や競合のことを調べて知り、現状把握をしたうえで、今後の東洋商事がどのように進んでいくかを決めていく会議は、毎回とても白熱しました。

発表後のアドバイスから感じた大きな学びは、「ビジョンの大切さ」です。「社員さんがワクワクドキドキするような方針書に感じない」というアドバイスを頂いて、振り返ってみると、自社の財務状況や就業環境等の現実を見すぎた方針書を作ってしまったのかなと反省しました。そして、私自身のビジョンが弱いことが大きな原因とも感じました。

経営研究会だからこそ、こういった経験はできるのだと思います。今回のチャンスを無駄にせず、9月の全国大会では、夢が膨らむような内容を、幹部社員さんと練り直して「ワクワクドキドキできる方針」を発表してまいります。



経営の転換点を乗り越え、新たな成長へ!

株式会社コダマ 代表取締役 児玉 晃典 氏



この度は、経営計画書を発表する機会をいただきありがとうございます。

今回経営計画書を作ろうとした理由は、今まで我流で計画書をつくっていましたが、一度しっかりした計画書を作成したいとの思いがあったからです。この計画書のフォーマットは整合性があり、自分の頭の中を整理

するのに大いに役立ちました。また、社内で社員を交えて話をする上でも、流れが分かりやすく、巻き込みやすくなっていることもいい点でした。

例会での発表依頼を受けたときは、「どうかな」と感じましたが、人に見せるために、より真剣に作ることにしたいと思います。何度かの発表練習のときにいただく質問やアドバイスから、経営者としての自分と会社の現状をより深く見つめる機会となり、考えていた以上に成果が高いものになりました。例会での発表では、より多くの人から、そして多様な面からアドバイスをいただくことができ、全国大会までにもう一度改良が必要ということが分かりました。

経営計画書の作成だけでなく、発表の場に出ることは自分にとって非常に良い場になりました。皆様にもぜひこのような場に出られることをお勧めします。

